



# 現場塗装タイプ

自由な  
デザイン!

希望の  
塗装  
仕上げ!

アクセント  
パネルで  
凹凸仕上げ  
が可能!



汎用プライマーを生地パネルに現地で塗布した後、表面は軽量セメントモルタル (JISA6918) を塗布。養生後、下記の「仕上げ塗材」で仕上げてください。

「下地調整材」は下記の製品をご使用ください。

軽量セメントモルタル (JISA6918)  
<塗厚: 5~10mm> を施工要領を遵守して全面塗布。

「仕上げ塗材」は下記の製品をご使用ください。

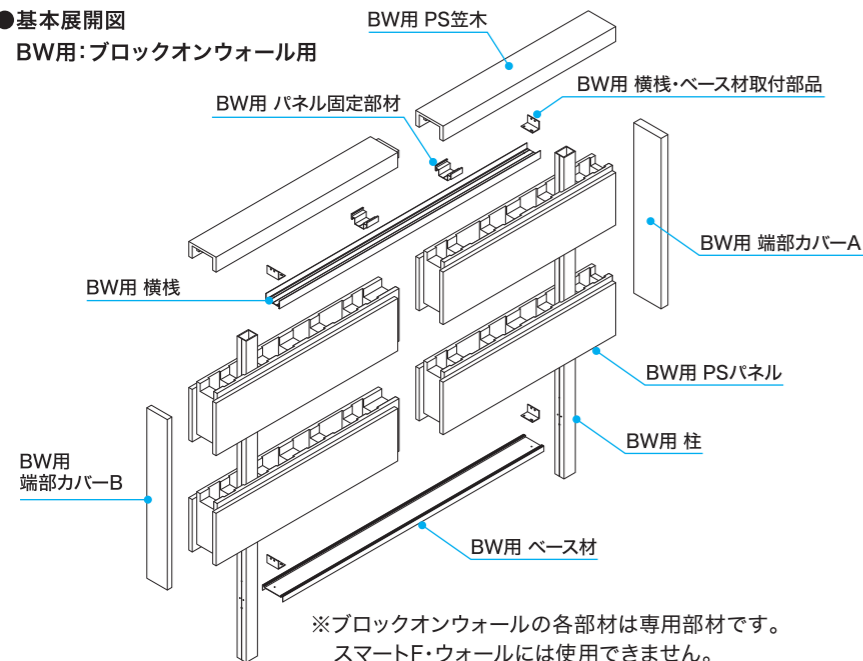
- 四国化成建材社「パレットHG」
- 四国化成建材社「パレットクリームHG」
- アイカ工業社「ジョリパットアルファ (JP-100)」

※詳しくは [P37] を参照してください。  
※上記「下地調整材」「仕上げ塗材」は当社で性能を確認しています。必ず上記をお使いください。  
※仕上げ塗材の塗膜の収縮や膜厚不足 (2mm以下) によって下地の影響 (下地の凹凸がそのまま反映されたり、メッシュの網目が見える等) を受けることがありますので、仕上げ材の膜厚については2mm以上を確保してください。当社では膜厚の確保できる仕上げパターンを設定しております。  
※下地調整材についてもしっかりと膜厚 (軽量モルタル5~10mm) を確保し、平滑に仕上げるようにしてください。  
[P37] も参照してください。

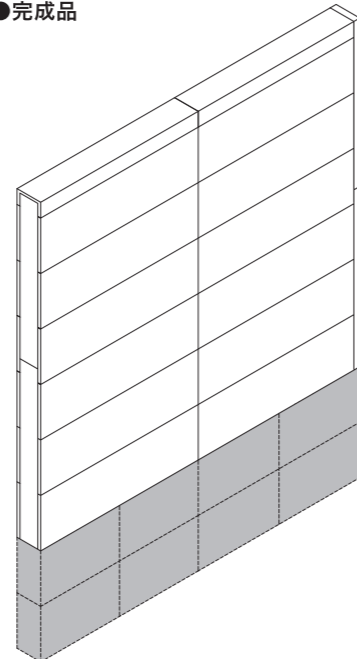
## 本体構成部品

### ● 基本展開図

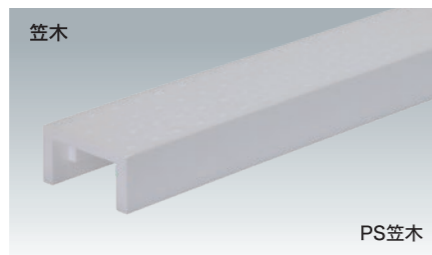
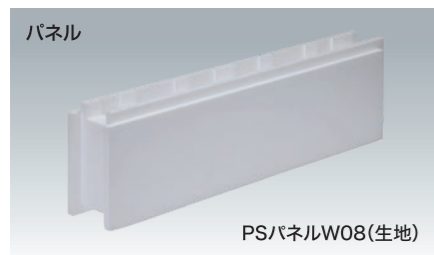
BW用: ブロックオンウォール用



### ● 完成品



## パネル・笠木

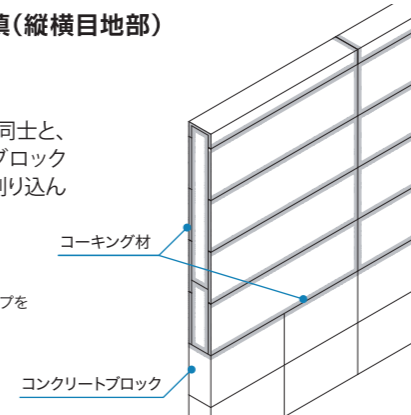


## 生地面の下地処理・塗装要領

### 1 コーキング充填 (縦横目地部)

ブロックオンウォール本体を組み立て後、コーキング材をPS部材同士と、PS部材とコンクリートブロックの目地部に充填しよく刷り込んでください。  
(養生: 1日 ※冬季4日)

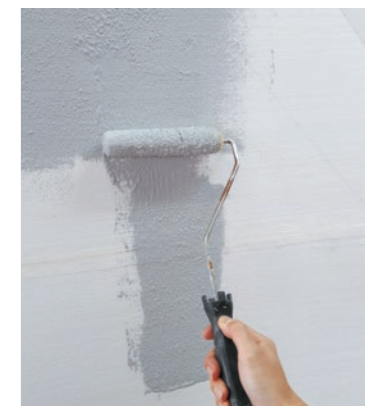
※コーキング材は変性シリコンノンブリードタイプをご使用ください。



### 2 汎用プライマー塗布

塗装仕上をするPS部材部分に、当社規格の汎用プライマーを塗布してください。  
(養生: 0.5~1日)

※コンクリートブロック部に汎用プライマーをシーラーとして用いないでください。  
※コンクリートブロック部は別途、軽量セメントモルタルを施工する前に、吸水調整材の塗布等の適切な下地処理を行ってください。



### 3 軽量セメントモルタル+グラスファイバーネット伏せこみ

軽量セメントモルタルを塗り厚5~10mm程度で塗布してください。

- 1 予定塗厚が少し薄い程度のモルタルを下塗りしてください。
- 2 下塗りが乾かないうちに、グラスファイバーネットを壁面に圧着してください。
- 3 最後に上塗りのモルタルを薄く塗りこみ、表面を仕上げてください。

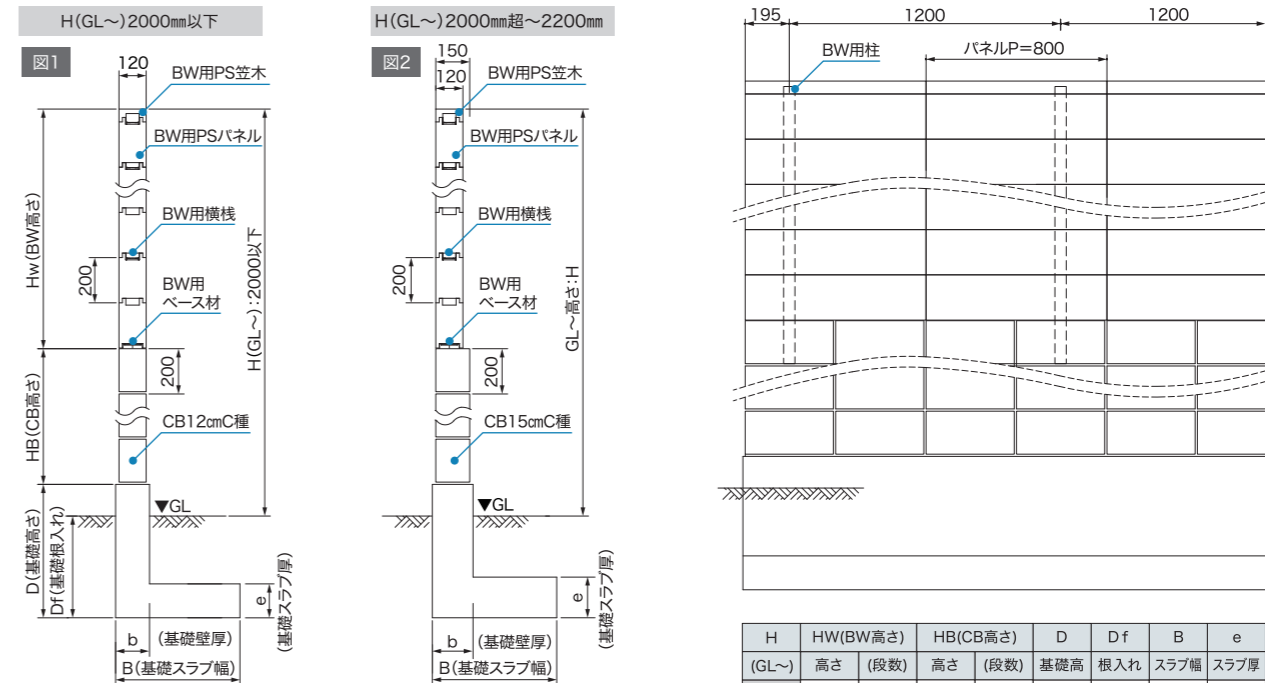


※グラスファイバーネットがモルタルの表層側に伏せこまれるようにしてください。  
※軽量セメントモルタルには、モルタル接着増強剤を混入工法で使用し、各メーカー指定の量にて混入してください。  
※軽量セメントモルタルは、施工後メーカーの指定する期間養生してください。

### 4 表面仕上げ塗材の塗装

- 1 仕上げ塗材施工前に各社指定のシーラー処理をしてください。
- 2 左記の「仕上げ塗材」で仕上げてください。濃色の場合は直射日光を避け、塗装後は養生などの処置をおこなってください。

## 基礎寸法図 (現場塗装タイプ)



※図1はGLからの高さHが2m以下の場合の標準納まりです。  
※図2はGLからの高さHが2m超~2.2mの場合の標準納まりです。ブロックオンウォールはCB15側に面揃えのため、柱を偏芯納まりにしています。詳しくはP026を参照してください。  
※表のL字基礎寸法は強度を確保するための寸法です。必ず守るようにしてください。  
※基礎上面はGLから50mm以上立ち上げてください。  
※強度上、コンクリートブロックは2000mm (GL~) 以下は12cm幅、2000mm (GL~) を超える場合ブロック幅を15cmにしてください。  
※コンクリートブロック高さHBは400mm (2段) 以上~1000mm (5段) 以下にしてください。  
(1段積みは強度低下のためおやめください。)  
※コンクリートブロック (CB) はJISA5406C種同等品以上のものを使用してください。  
※基礎寸法は長期地耐力50kN/m<sup>2</sup> (砂質地盤相当) によるものです。  
※基礎立上部分が型枠ブロック (CP) の場合や片側土圧 (GL高低差) がある場合はP19のQRコードから納まりを参照してください。

H (GL~)	HW (BW高さ) 高さ (段数)	HB (CB高さ) 高さ (段数)	D 基礎高	Df 根入れ	B スラブ幅	e スラブ厚	b 壁厚
1600	1060 (5)	400 (2)	490	350	550	150	150
	860 (4)	600 (3)					
1800	1260 (6)	400 (2)	540	400	600	150	150
	1060 (5)	600 (3)					
2000	1260 (6)	600 (3)	540	400	600	150	150
	1060 (5)	800 (4)					
2200	1260 (6)	800 (4)	590	450	650	180	180
	1060 (5)	1000 (5)					